

手話劇

う え ぶ の な か

●登場人物

ワカバヤシ ユウスケ (W)

エスミ リン (E)

バンドウ アスカ (B)

●三幕構成

第一幕 ティーンエージャー編

第二幕 アダルト編

第三幕 シニア編

舞台上を三分割し、登場人物の三人を配置。

それぞれ個別空間からリモートビデオ通話に参加している想定。

それぞれの場面でメインの役者は、正面におかれたカメラに向かって発言をし、その映像はスクリーンに映し出される。残りの二人は、それぞれ自身の正面に同じ映像が映っているという想定で、返答・リアクションなどを行う。

第1幕

1.1 ワカバヤシ・ユウスケのパート

W (部屋でバットの素振りをしている)

(カメラを見て) 何だよ、二人とも来てんじゃん！久しぶりー、元気かー？

B (あきれて) 何してんの？

W え？わかるだろ。練習。(ふたたび素振りをして) ずっーとしてきたのに。

これ(県大会のチラシ)、中止だって。

ひどいと思わない？せっかくさ、目標にして練習してきたのに。

まあ、このご時世だからしかたないけど。

次はいつになるかわからないけど、とりあえず練習してないと落ち着かなくてさ。

B 野球バカ

W (よく聞こえない) なに？

B 何でもなーい

W まあ、それはどうでもいいや。今日は主役はリンだからね。

E . . . え、わたし？

W そう。じゃーん(画用紙に書いたお祝いの文字) ハッピー、バースデー、でしょ。

E ええ！

W 自己紹介の時にさ、言ってたろ。

だから本当は、直接会ってお祝いしたかったんだけど、今、会えないからさ。

せめてこういう形で。俺がアスカに相談して。

B ちがう、私が言ったの

W え、そうだっけ？

それじゃ早速僕らから心をこめて、せーの、

(二人でハッピーバースデ이의歌を歌う)

E . . . ありがとう

W . . . なんか、ひさしぶりに話すから、緊張するな . . .

B 似合わない

W これ、ちゃんと映ってる？(再び素振りをする)

B もう、わかったから。

W

あのさ . . . せっかくお祝いしたあとで、こういうの言うのも、あれなんだけど . . .

B ん？

W 実は 俺 . . .

リンに謝らないといけなかったことがあって . . .

E え、私に？

W うん。だから今日はお祝いもあるんだけど、本当はそれを言いたくてさ . . .

E なに？

W うん

(傘を出して) これ、リンの。

実は、盗ったの、俺なんだよ . . .

あのとき、クラスみんなで、犯人は誰だ？って、大騒ぎになってさ、

まさか、あんなに騒ぎになるとは思ってなかったから、言い出せなくて . . .

. . . ごめん、ほんと、ごめん！

E まって なんで？

W いや、たまたまだよ。

雨が降って来た時、近くにあってさ、つい。

誰のかは知らなかったんだよ。あとでこっそり戻そうと思ってて。

でも、何かあんな騒ぎになっちゃって、言い出せなくてさ。

最悪だよな、俺って。

E だけど

W ちゃんと返す。すぐに返すから。

だから、みんなに言ってくれていいぜ。犯人は俺だったって。

ちゃんと傘取り返したって。

E なんで . . . 話してくれたの？

W だって

(窓の外を見て) もうすぐ、梅雨だろ . . .

ないと、困るだろ

E

B

1.2 エスミ・リンのパート

E (言葉を選ぶようにゆっくりと)

ふたりとも・・・今日は、ありがとう。

・・・うれしかった。

・・・ごめん・・・こういうこと・・・慣れてないから・・・

こんな時、どんな顔していいのか、分からなくて・・・

B 素直に喜びなって

E うん・・・

・・・なんか、離れたところにいるから、余計にね・・・なんて言えばいいか・・・

・・・二人はさ・・・最初、私が教室で独りぼっちの時に・・・話しかけてくれたよね。

ユウスケ君は、学校のこと、授業のこと、部活のこと、私がわからなくて困ってる

ことを何でも親切に教えてくれた。

W 別に、普通のことだよ。

E アスカは、いっしょに帰ろうってさそってくれたり、この町のこと、色々話してくれたり、二人には本当に、感謝してるの。

B 照れるなあ

E ・・・今日だって・・・

・・・だから・・・本当のことを、言うね。

・・・あのとき・・・あれは・・・うそなの。

W え？

B うそ？

E そう・・・うそ・・・わたしの盗られたっていうのは・・・うそ。

最初は軽い気持ちで言ったの。なのに、まさかあんな騒ぎになるなんて。

・・・私ね・・・昔からそういうところあって・・・

この学校にもあとから入ったからなかなかなじまなくて、それで、みんなの注目を集めたくって、つい・・・

あー、傘がない、私の、誰かに取られたー！どうしよー！

って、笑っちゃう、あんな下手な演技。

馬鹿だよ。みんなを巻き込んでさ。

W ・・・なんで、そんな話。

E 今日、二人にお祝いしてもらって・・・ああ、わたし、ダメだって・・・

本当のこと言わないと・・・このままじゃよくないって・・・そう思って・・・

それに・・・二人がいるから・・・もう、うそをついたりする必要なんてないんだなって。

W でも、それって

E ユウスケくんが！・・・自分が盗ったなんて、そんなこと言うから・・・

なんでそんなこというのよ・・・もう・・・このままじゃユウスケ君までうそつきになっちゃう。

W (傘を出し) だって、これ、ここに

E もう、それ、違うでしょ。
だって、私自分の、捨てちゃったもん。
だから、ユウスケ君がもってるはずない。でしょ？
いいよ・・・もう・・・私の罪をかぶってくれたのね・・・
その気持ちだけで充分だから・・・
・・・・・・・・
・・・・あのさ！
・・・・ひとつだけ・・・聞いていい？
・・・・こんなこと・・・聞くの・・・なんか・・・・あれだけど・・・・
・・・・私たち・・・友・・・・達？

W え、ああ。

B うん。もちろん。

E （ほっとして） ああ・・・・ほんと、今日は最高の誕生日・・・・

1.3 バンドウ・アスカのパート

B なんか、こういうの、やったことないから、照れるなあ・・・

（カメラに思い切り近づき）はあい、ふたりとも、元気ー？

W 近っ！

B うるさいなあ。リンも元気してた？

こうずーっと家にこもってるからさあ、なんか、いやになるよね。

また会えるようになったらさ、ぱーっと遊びに行こ！

（部屋の外からの母親の声に）えー？もう、何？

（カメラに）ちょっとごめん

（一度カメラから外れて、部屋の外に）あとにしてよ、今、いそがしいの！

（カメラに戻って）ごめんごめん。

えっと・・・・・・、何だっけ・・・・

あ、リン、今日はおめでとう。

おめでとう・・・・・・なんだけど・・・・

・・・・うんと・・・・実は――、今日は、私も二人に話したいことがあってね。

それで、だったらせっかくだからリンのお祝いもしようと思って、

それでユウスケに言って、二人に来てもらったのよね。

W ちがう、今日のは元々俺が

B うーん、どうしようかな・・・・

いい話とよくない話、どっちから聞きたい？

W 何だよそれ

E ・・・・よくない話？

B そう、話が二つあってね。

・・・・OK、じゃあ、まず最初はそっちからね。

・・・・・・

あのさ、さっきから・・・・ふたりとも色々言ってくれてるけど・・・・

結局どっちも作り話だよ。

だって、あれ・・・・盗ったの私だよ。

E え

W は？何言ってるの？（傘を出して）俺が、ここに！

B だから私がユウスケに渡して、そうなるように仕向けてあげたんでしょ。

リンに返してあげてって。そうすれば話しかけられるきっかけになるからって。忘れたの？

W 何でアスカがそんなことするんだよ！

B ユウスケがいつまでもぐずぐずしてるから！

最初のころは色々親切に話してたけど、最近はだんだんそんな機会もなくなってるみたいだし。

私がいるあいだに、なんとかしたくってさ。

W 何でそんなこと・・・・

E まって・・・いるあいだって・・・

B あ、うん、じゃあ、もう一つの話ね。

E いい方の話

B ああ、ごめん。さっきのがいい方の話だった。

W どこがいいんだよ。

B だって、これで二人の罪は晴れたでしょ。もう変な嘘つかなくてよくなったし。
いい話じゃない！
ああ、つつい嫌なことは後回しにしちゃうのよね。私の性格。

E ・・・・聞かせて

B ん・・・っと。
実は・・・もうすぐ二人とはお別れしないとイケなの。
家の都合でさ・・・来月には、もう、ここにはいないんだ。

E どこに？

B 東京

W 遠・・・

B 何か、急な話で、私も、信じられないんだけどさ・・・。
本当は、最後に会って話したかったけど、それも難しそうだからさ、
せめて、今日、これで、話したいなって。
・・・ありがとう、二人とも、時間作ってくれて。

W ちがう、今日話しようって言ったのは俺で。

B だから、そう、仕向けたのは私よ。全く最後まで馬鹿なんだから。

E まって！
さっき、また会えるようになったら一緒に遊びに行こうって

B ごめん・・・。でも、嘘じゃない。友達だから。いつか、また、会える。
だから、その時までの約束。

E ・・・・

B はあ、言ったらすっきりした。もうこれで思い残すことはないや。
(部屋の外を気にして) じゃあ、呼ばれてるから、私、抜けるね。
色々準備が大変なの。

W ええ！？ ちょ、まてよ、これで最後なの

B ユウスケ、がんばってね

E まって！

B バーイ

アスカが抜ける。しばしの間。

W ・・・・まったく・・・なんだよ・・・最後の最後まで自分勝手なんだから・・・

E ・・・・なんか、突然過ぎて・・・信じられない

W あいつのことだから、実は冗談でした一って、今頃笑ってるんじゃないの？
 だって・・・傘のことだって。
E そう、何であんなこと。犯人は私なのに。
W 俺だよ！

二人、何故だかおかしくなって笑う。

W 何で笑ってんの？
E そっちこそ。
W ・・・なんかさあ、もう傘のこともどうでもよくなってきちゃって。
E うん。

間

E ・・・ほんとに・・・いつか・・・また・・・あえる・・・かな・・・
W ・・・うん、だって友達、だろ？
E うん。友達・・・アスカも・・・ユウスケ君も・・・
W ・・・じゃあ、俺、まだ練習しないとイケないから、抜けるな。

ユウスケ抜ける。

E ・・・バイバイ

リンも抜ける。

暗転